

経済産業研究所(RIETI)セミナーにおいて、講演を行いました (2018/3/8)

テーマ：自然災害，間接被害，人口移動，ビッグデータ
場所：経済産業研究所（東京都千代田区霞が関 1-3-1）

独立行政法人経済産業研究所(RIETI)では 2001 年の発足以来、ワシントンのマサチューセッツアベニューにあるシンクタンクで日夜繰り広げられているような政策論争の場を日本にも移植し、policy market を作りたいという思いで、国内外の識者を招き、様々な政策について、政策実務者、アカデミア、産業界、ジャーナリスト、外交官らとのディスカッションを行うためのBBL (Brown Bag Lunch Meeting) セミナーというブレインストーミングセッションを開催してきています。

3月8日(木)、本年度 35 回目となるBBLセミナーが開催され、本研究所から、奥村誠教授（人間・社会対応研究部門）が「災害後の人口移動から見る復興の状況」というテーマで産官学からの 35 名の参加者に対して講演を行い、携帯電話位置情報ビッグデータを用いた熊本地震後の自宅での生活活動、就業活動の変化の分析、40 年間にわたる住民基本台帳人口移動データに基づく災害後の都道府県間の人口移動への影響の分析という 2 つの研究成果を発表しました。その後の参加者との質疑において、位置情報ビッグデータの労働・産業活動分析への応用の可能性や、市町村レベルでの人口移動分析の可能性についての意見交換を行いました。

なお、東北大学では現在、経済産業研究所との連携協定の締結に向けての検討が行われており、その締結が同研究所が管理する経済産業関係のデータの活用を可能とし、本研究所の新たな災害研究の展開につながる可能性についても、同研究所幹部との意見交換を実施しました。



講演を行う奥村教授



会場の様子

文責：奥村誠（人間・社会対応研究部門）